

～未活用オープンスペースの活用を通じ、不動産の価値向上に貢献～
**都市型菜園システム『みんなのエコ菜園』を
「賃貸住宅フェア 2026 in 東京」で提案**

DAIKEN 株式会社(東京都千代田区、社長:清洲忠洋)は、7月29日(水)、30日(木)の2日間、東京ビッグサイトで開催される「賃貸住宅フェア 2026 in 東京」に出展し、都市型菜園システム『みんなのエコ菜園』を提案します。



過去の展示会にてご好評いただいた『みんなのエコ菜園』
本フェアにおいても、同様の展示を行います。

近年、賃貸住宅や各種施設においては、共用空間の差別化や入居者・利用者の満足度向上、遊休スペースの有効活用への関心が高まっています。『みんなのエコ菜園』は、ビルの屋上やマンション・オフィスなどの共用部をはじめ、遊休地などの都市部の未活用オープンスペースを活かして、手軽に菜園を開設できるサービスです。本サービスでは、軽量で環境負荷にも配慮した木質培地『グロウアース』を使用しており、一般的な緑化設備と比べて建物への荷重負担を抑えられるほか、開設から保守運営までを当社が窓口となってワンストップで対応するため、既存建物・新築物件を問わず、導入しやすい点が特長です。

不動産価値の向上やオープンスペースの有効活用につながる取り組みとして、都心部のマンションやシェアオフィス、商業施設を中心に採用が広がっています。

当社は 2023 年から継続して本フェアに出展しており、今回も『みんなのエコ菜園』を通じて、都市部の未活用空間に新たな価値を生み出す活用方法を発信してまいります。

【主な提案内容】

● 都市型菜園 開設サービス『みんなのエコ菜園』 <https://www.daiken.jp/eco-farm/>

賃貸マンション、オフィス、商業施設などにおける導入イメージや活用方法をご紹介します。都市部の未活用空間を、入居者・利用者の交流や体験価値の向上につながる場として活用する考えに加え、菜園の開設から保守までをワンストップで支援する当社の対応体制についてもご案内します。



培地に『グロウアース』を使った『みんなのエコ菜園』導入例

●木質培地『グロウアース』



『みんなのエコ菜園』を支える木質培地として、通常の土のおよそ半分の重量という軽量性に加え、手が汚れにくく、強風時にも飛散しにくいなどの扱いやすさをご紹介します。あわせて、国産木材を原料としている点など、環境に配慮した素材としての特長についてのご案内します。

【「賃貸住宅フェア 2026 in 東京」開催概要】

期間	2026 年 7 月 29 日（水）、30 日（木） 両日とも 10～17 時
会場	東京ビッグサイト 西 1、2 ホール ※当社出展ブースは小間番号: B1-12
主催	全国賃貸住宅新聞社・家主と地主
来場方法	事前予約制（無料）
出展社	不動産業務支援システムや住宅設備・建材関連の企業など約 200 社
展示会 HP	https://zenchin-fair.com/2026/tokyo/

【記事に掲載するお問い合わせ先】

『みんなのエコ菜園』に関するお問い合わせは、
ソリューション開発部 営業課 菜園事業担当 info-saien@daiken.co.jp

以 上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧になられている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください